文化財の保存修復等を行っている伝統産業事業者による
子どもたちへの実演解説及び制作体験事業「匠の技を学ぶ」提案書

（宛先）公益財団法人京都伝統産業交流センター理事長	令和　年　月　日
申請者の主たる事務所の所在地	申請者の名称及び代表者名 電話（　　）　－

下記のとおり匠の技学び事業の企画を提案します。

記

申請者概要	職　種 （京都市伝統産業指定74品目より選択）			
	加盟組合等名			
	従業員数	人	資本金	円
	担当者名：　　日中連絡が取れる電話番号			
申請動機理由 ※該当するもの全てにチェックしてください。	□ ⑴未来の担い手となりうる子どもたちへ、事業を通じて技術を伝えたい。 □ ⑵若手職人が事業に参加することで、自身の成長を促したい。 □ ⑶事業を通じた得た謝礼等を本業に活用したい。 □ ⑷その他（具体的に記入ください） 〔　　〕			
解説・実演内容 （所要時間）	（所要時間　解説　　分～　　分　実演　　分～　　分）			
体験事業内容 （所要時間）	（体験内容は複数できる場合は全て記入ください）			
体験人数	（事業対象は小中学生（小学生は保護者同伴となります。）） １日当たり　　人 （複数回に分ける場合は内訳をお書きください）　１回　人　×　回			
体験場所	□ 提供可 所在地と異なる場合は施設名・住所を記載→（　　） □ 提供不可　実施希望場所があれば記載→（　　）			
当日の従事する職人（予定） ※体験事業には可能な限り若手職人が携わってください。	（体験を実施する際はできるだけ若手職人が従事してください） 合計　　人（　　） 申請者の団体以外の方と連携して参加いただく場合は、団体・個人の名称を記載してください。 （　　）			
予定経費	円 （内訳）職人謝礼　　円×　　人、材料費　　円×　人、 道具使用料　　円、会場費　　円			
申請団体の課題 ※日頃課題だと思っていること全てにチェックしてください。	□ ⑴収入が減少し、後継者を雇う余力がない □ ⑵後継者の就労希望がなく、技術の継承が困難な状況にある □ ⑶原材料や道具の費用が高騰し、確保が困難な状況にある □ ⑷その他（具体的に記入ください） 〔　　〕			
事業実施により見込まれる効果 ※該当するもの全てにチェックしてください。	□ ⑴職人の技術力向上につながる　□ ⑸従業員の育成費用に充てる □ ⑵職人の発信力向上につながる　□ ⑹原材料・道具費に充てる □ ⑶技術継承につながる　□ ⑺その他（具体的に記入ください） □ ⑷魅力発信につながる　〔　　〕			
体験イベントを実施した経験				
文化財（未指定含む）に携わった経験				